



パイプロック

この度は、当社製品をお買い上げいただきありがとうございます。

末長くご愛用いただくために、この「取付・取扱説明書」をよくお読みいただき、正しい施工とご使用をお願いします。

施工は専門業者が行ってください。専門知識のない方が施工されますと不具合発生の原因となることがあります。



メンテナンス

- ◆みだりに改造や変更はしないで下さい。
- ◆本品を足場がわりに登らないで下さい。
- ◆近くで火気を使用しないで下さい。
- ◆運動具やお子様の遊具等、目的以外の使用はしないで下さい。
- ◆無理な荷重をかけないで下さい。
- ◆被覆表面に素地が見える様な深い傷を付けないで下さい。



ご 注 意

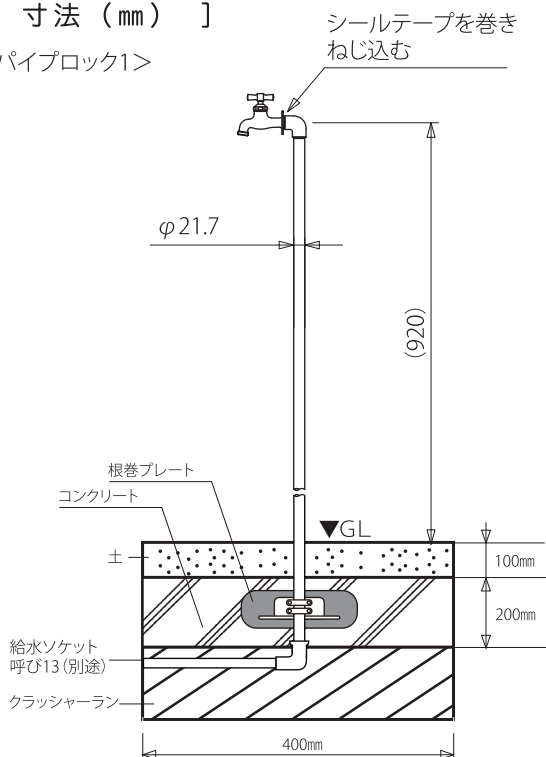
- ◆研磨剤入りのクレンザー等は、本体表面に傷をつけるおそれがあるため使用しないで下さい。
- ◆シンナー、ベンジン、ワックス、石油、塩素系溶剤等は使用しないで下さい。
- ◆殺虫剤、ガラスクリーナー、ヘアスプレーなどをかけないで下さい。
- ◆寒い季節は、蛇口や水栓柱を毛布やボロ布で巻き、上からビニール袋などをかぶせて下さい。凍結防止となり蛇口や給水管の破損を防ぎます。また、特に冷え込みが予想される夜には、少量の水(1分間に牛乳瓶1本程度)を出しっぱなしにしておく「流動方式」が有効です。(技術的なことは、水道工事店にご相談ください。)

※この取付・取扱説明書は、工事完了後お客様にお渡しください。

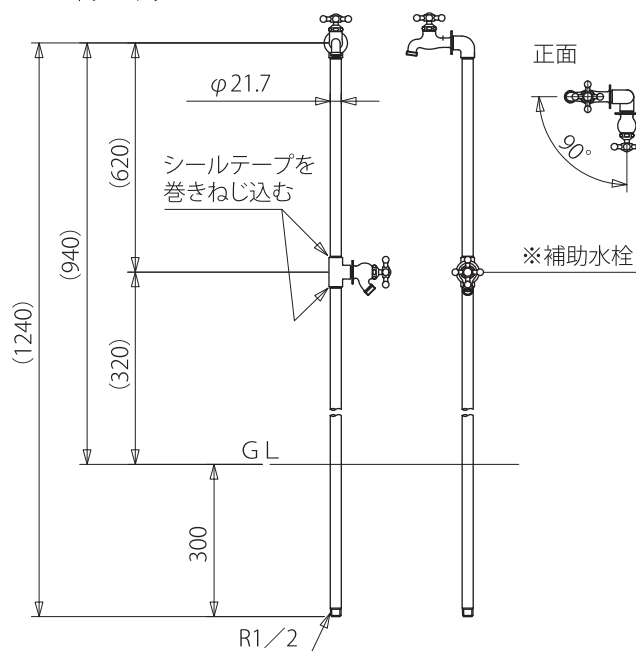
施工寸法図

[寸法 (mm)]

<パイプロック1>



<パイプロック2>

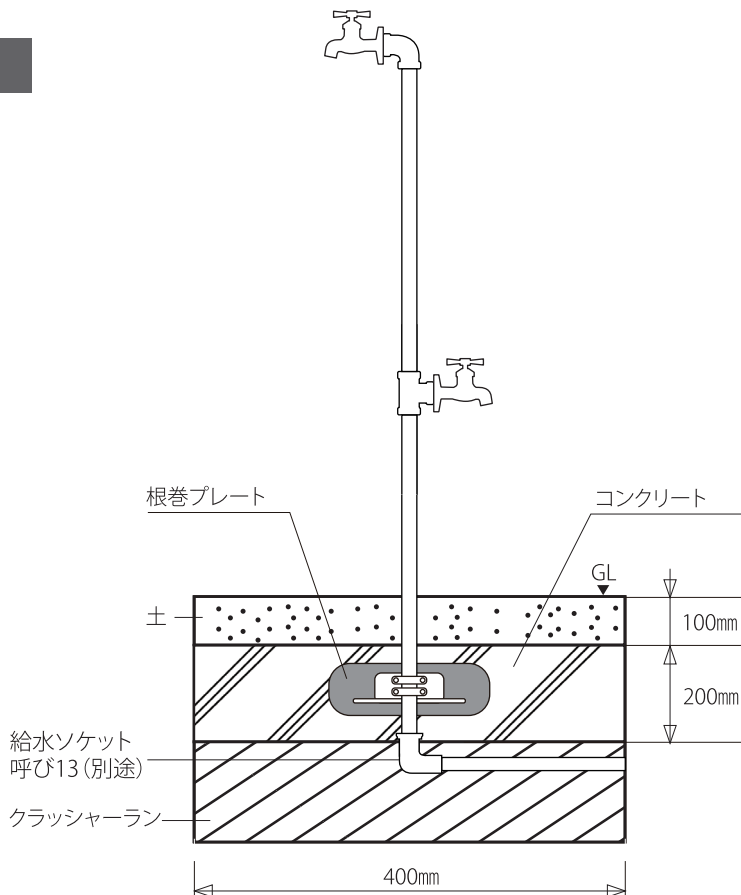
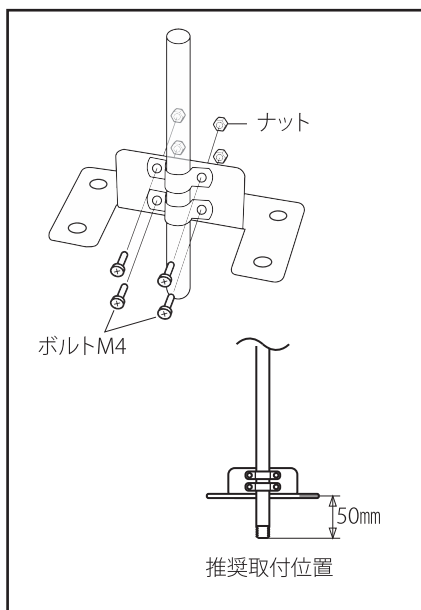


※補助水栓の向きは現場に応じて変えて使用して下さい。

根巻プレートの取り付け方

[寸法 (mm)]

※根巻プレート有り

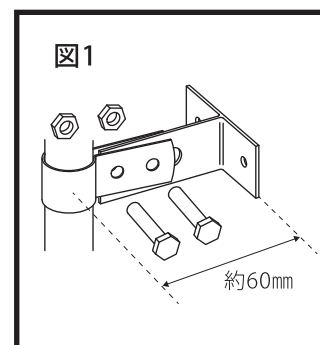


施工について

- 給水管は、RP1/2となっております。ネジ付き継ぎ手で接続してください。
- 本体は、比較的長いタイプですので、GLラインまで、埋め込んでください。
- 地中部は、コンクリートなどで根巻きをしていただくことをおすすめします。
- 地面と垂直に施工してください。

※配管を接続する際の締め付けは、地中に埋まる箇所や目に付かない箇所に被覆鋼管用パイプレンチやウエスを巻いて締め付けを行い、配管の外観になるべく傷が付かないように注意して下さい。

※必要に応じて支持金具(図1)の使用を推奨しています。支持金具は壁面に合った固定法で固定して下さい。(オプション品別売)



蛇口の取り付け方

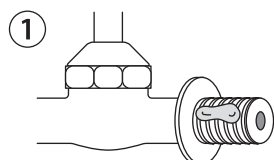
- 量水器付近の止水栓を止め、止水します。
- 蛇口の取り付けネジにシールテープを巻きます。(下図参照)
- ハンドルが上部にくるようにねじ込みます。この時ねじ込んだ蛇口を緩める時(戻す時)は必ず再度シールテープを巻き直して下さい。止水栓を開け、蛇口付近から水漏れが無い事をご確認ください。

漏水を
さけるために

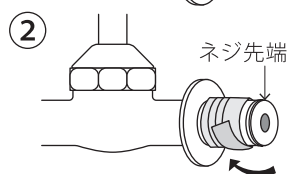
蛇口を取り付ける前に **必ず水道配管中のゴミなどを
出すために水道水を通水して** から、取り付けてください。

シールテープの巻き方

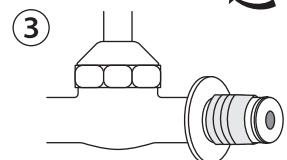
蛇口を取り付ける前に **必ずお読み下さい。**



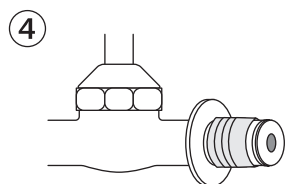
①液体シールを少量塗布。
あまり多く塗布するとはみ出したり、しっかり固定されすぎて次回の蛇口交換時に内部を痛める可能性があります。



②シールテープを本体の付け根から時計回りに巻きつける。
この時に先端のネジ山は残しておきます。巻く回数は6巻～7巻くらいです。テープを軽く引っ張りながら、しっかり巻きます。



③指や爪でシールテープをしっかりと押さえます。
シールテープが薄いようでしたら、液体シールも薄く塗布してください。



④立水栓などの給水管の雌ネジに蛇口をねじ込みます。
ハンドル部が頂上になるようにねじ込み、蛇口のツバが雌ネジ側に接着しないギリギリまでねじ込み調整します。

※ねじ込みすぎた場合に戻すと漏水の原因となりますので、シールテープを巻き直して下さい。

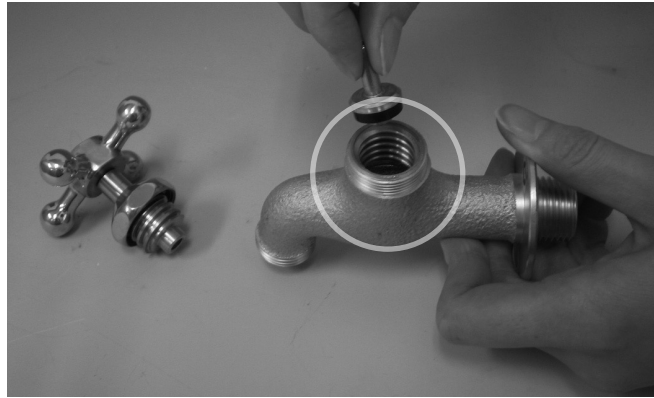
■液体シール

液体シールは、『ヘルメシール88』などがあります。 ※必ずしも液体シールを塗布する必要はありません。

メンテナンス

■漏 水

水が止まらない場合、多くはコマ(パッキン)に異物が詰まっているか劣化が考えられます。下の写真の様に、内部を開け、コマを又は内部を清掃していただくか、コマを新しいものに交換してください。コマは13mm用で、通常ホームセンターなどでお買い求めいただけます。(漏水の多くはこれで直ります)



■白い粉

当初、設置時にハンドルおよび本体に白い粉が付着する事がございます。この粉(カルシウム系)は無害です。数ヶ月で自然に取れます。また濡れ雑巾で拭いていただくことにより取り去る事ができます。

■酸 化

ハンドルおよび本体は、青銅(真鍮)の材料でできており、年月が経つにつれて表面が酸化により黒づんできますが、これは素材 特有の性質ですので、ご理解を承りますようお願いいたします。

以上 ご不明な点は、販売店にお気軽にお尋ねください。